

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		運動器再建生理学研究		長谷川 健二郎
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
運動器生理学の研究者として、特に脊椎に関する病態生理を理解する。また、マイクロサージャリーにおけるテクニック、手術器具の開発を理解する。				
授業到達目標				
(1) 脊椎の発生機序を説明できる。 (2) 椎間板の加齢機序を説明できる。 (3) 椎間板の加齢変化に伴う免疫生理学的反応を説明できる。 (4) 腰椎椎間板ヘルニアにおける新規治療法の発展性を考察する。 (5) マイクロサージャリーの歴史を理解し、新しい治療法について考察する。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
月1回	水	16:00 - 17:00	中西 一夫	(1) 椎間板の生理、加齢変化について (2) 腰椎椎間板ヘルニアにおける新規治療法の発展性について
月1回	水	18:00 - 19:00	大成 和寛	生体免疫反応について
月1回	木	10:00 - 11:00	長谷川 健二郎	マイクロサージャリーについて
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題（レポート等）に対するフィードバック				
履修手帳に対し、週1回指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9781455774272, Green's operative hand surgery <2-Volume Set> (7th Edition), Scott W. et al., Elsevier, 2016 ISBN-9780323393973, Rothman-Simeone and Herkowitz, the spine <2-Volume Set> (7th Edition), Steven Garfin, Frank Eismont, Gordon Bel,l, Christopher Bono, Jeffrey Fischgrund, Elsevier, 2018				
参考書				
必要に応じて別途指示する。				
準備学習（予習・復習等）				
実験終了後、その日のうちにデータを記録し、提出する。（約1時間）				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
(1) 卓越した研究成果をあげ、整形外科の深い学識を獲得する。 (2) 日本国民のみならず、全世界の人々からも信頼される医療を提供できる整形外科医育成を目的に活動する。				
注意事項・メッセージ				
今回の研究結果が臨床応用されることが望まれる。				